

# OSラスコート 施工要領

## 1. 用途

建物内外及びコンクリート構造物の爆裂欠損補修専用の防錆プライマーです。

## 2. 素地調整

塗布面の浮き錆、劣化した塗膜等は、ワイヤーブラシ、ハンマー、サンダー等の工具(電動)を用いて、除去してください。(第2種ケレン程度)

## 3. 塗布作業

- 1) OS ラスコートは、使用前にはよく容器を振って、ポリ容器に入れ、原液でご使用してください。

※容器より取り出した材料を入れる容器は、金属性のものを使用しないでください。

- 2) 刷毛、またはローラーで、2回塗りをしてください。(標準塗布量:0.2 kg/m<sup>2</sup>/2回)
- 3) OS ラスコートの乾燥が速く、被塗面の泡が消えずに、ピンホールになることがあります。その際は、必ず後でタッチアップ補修をしてください。
- 4) 塗布後 15~30 分位で、鉄表面が黒紫色に変色し、さらに 2~3 時間で指触硬化します。
- 5) OS ラスコート硬化後は断面修復材(ポリマーセメントモルタル)で埋め戻してください。

※OS ラスコートの塗布量は、1回目 70~100g/m<sup>2</sup>、2回目 130~150g/m<sup>2</sup>が目安ですが、錆の程度によって変わります。

※黒紫色に変化しない場合がありますが、防錆上問題はありません。

※OS ラスコート塗布間隔:3 時間以上(20℃、75RH)

※使用器具:刷毛または、ローラー(エアレスは不可)

※次工程(断面修復)への塗布間隔:3 時間以上(20℃、75RH)

## 4. 注意事項

- 1) 必要量を取り出してご使用ください、使い残した材料は元の容器に戻さないでください。
- 2) 5℃~35℃以外になる場所で保管しないでください。密栓の上、冷暗所で保存してください。
- 3) 高温(35℃以上)や低温(5℃未満)での使用は避けてください。
- 4) OS ラスコート塗布後に降雨・結露・夜露等の影響を受けますと、樹脂成分が溶出する場合があります。また塗布面が白くなる場合がありますが、防錆上問題はなりません。断面修復材(ポリマーセメントモルタル)で埋め戻してください。

※本商品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、安全データシート(SDS)をご請求ください。

※製品改良のため予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承ください。